



校報松風

後学期後半がスタートしました～今年もよろしくお祈りします～

今年度は1月1日の能登半島地震から始まりました。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りし、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、1月15日（月）より後学期後半が始まり、子どもたちは元気に登校してきました。この冬休みは、大きな事故やケガもなく、安全に過ごせたことをうれしく思います。ご家庭や地域での見守りや声掛けに感謝いたします。

冬休み明け集会では、校長から「新しい年がんばること、安全な登下校、お知らせ」について話をしました。そして、2・4・6年生の代表が、これまでがんばったことやこれからがんばりたいことなどを作文発表しました。代表の子どもの作文を以下に紹介します。

後学期にがんばったこととこれからがんばりたいこと

2年1組 富永 **

わたしが後学期になってがんばったことは2つあります。

1つ目は、「かがやきまつり」です。出店や「いやさか秋田」の踊り、おみこし作りなど、1年生に喜んでもらえるように準備を一生懸命がんばりました。本番の出店では、ロケットぼん屋さんになり、1年生に遊び方を分かりやすく、優しく教えることができました。「いやさか秋田」の踊りでは、盛り上がるように、掛け声を大きな声で言うことができました。1年生とさらに仲よくなることができ、うれしかったです。

2つ目は、算数のかけ算の勉強です。九九をいっぱい練習して、すらすら完璧に言えるようになってうれしかったです。また、かけ算名人になるために、みんなで話し合ったり、わざを見つけて増やしていくのが楽しかったです。タブレットやノートを自分で選んで、自分に合った方法で学習できたのもよかったです。

1月になったので、3年生になる日が近付いてきています。そこで、わたしががんばりたいと思うことは、あいさつです。自分がいさつをすることで、自分も周りの人もお互いにいい気持ちになれるからです。あいさつを広めて、「あいさついっぱいさわやか新山」になるように、大きな声ではきはきとおじきを付けてがんばりたいと思います。



冬休みの思い出と冬休み明けにがんばりたいこと

4年3組 菊地 **

わたしの冬休みの思い出は、スケート場に行ったことです。最初は、ちゃんとすべることができなかったけど、後から慣れてきてちゃんとすべることができるようになったので、よかったです。今度行くときは、もっとすべれるようにしたいです。

わたしが冬休み明けにがんばりたいことは、3つあります。

1つ目は、テストが終わったときに見直しをすることです。これまでは、見直しをしても1回だけ見直しをして終わってしまうからです。

2つ目は、字を丁寧に書くことです。丁寧に書くようにしていますが、急いでいるときに、てきとうに書いてしまうからです。

3つ目は、ハンカチ、ティッシュ、名札を忘れずにちゃんと持ってくることです。わたしは、ハンカチ、ティッシュは、ちゃんと持ってきているけれど、たまに名札を忘れてしまうので、忘れないように工夫したいです。

残りの3か月で、手洗い、うがいをし、健康に気を付けて生活するようにしたいです。これからも、勉強と部活動の両方を両立できるようにがんばりたいです。4月には、クラス替えがあるので、4年3組のみんなともっと仲よくなって、新しい友達もつくれるようにしたいです。



裏面に6年生代表の作文を載せています

学校に子どもがいる時間帯は、低学年広場への駐車はご遠慮ください（お願い）

最近、お子さんの送迎時に車を低学年広場に駐車する方が増えています（特に下校時）。接触事故を避けるため、ケガなど特別な事情がない場合は、校門から車で入ることのないようにしてください。事情があって、低学年広場や玄関前への駐車を希望する方は、学級担任等へご連絡ください。冬期間は除雪や松の木からの落雪の関係で、一部職員も低学年広場を駐車場として利用しています。

今までとこれから

6年1組 佐藤 *

冬休み前、ぼくは部活に燃えていた。ぼくたち新山小学校男子バスケ部は、県大会に出場したのだ。しかし、1回戦で敗退した。そこからたくさんの課題が見えた。多分、全部挙げたらきりが無いと思う。だが、確信している1つの学びがある。それは、負けた人は強くなれるということだ。

ぼくは、勝つことより負けることの方が価値があると思っている。なぜなら、負けると復讐心や闘争心に燃え、いつもの倍、努力できるからだ。あの悔しさや悲しさを乗り越え、勝ちをつかめることにこそ、とても価値があると思う。

県大会に向けて、ひたすら努力した。コート上で周りを見て、声を掛けてディフェンスをすること。キャプテンとして、試合前にみんなが安心して声掛けたり、体を張ってプレーしたりすること。だが、それでも県大会では通用しなかった。心が折れそうになった。でも、ぼくには努力しかないから、努力する。そしてきっと勝ちを手にする。

冬休みが明けたら、卒業までのカウントダウンが始まる。進学を意識した生活が始まるだろう。中学校でも、バスケを続けようと思っている。中学校でしっかりついていくために、今のうちから体づくりをやりたい。フットワークや体幹を強くし、中学生にも当たり負けないように鍛えようと思う。

学習は、進学に向けて今までの復習に力を入れたい。家庭学習のノートづくりをがんばる。すき間がなく、分かりやすいノートをつくることを意識していきたい。授業中は話の内容をとらえ、次の学習に生かすことを心がけたい。去年は、課題や問題に対する予想ができないことが多かった。たまたま予想ができたときには、実験や調査に対する興味をもつことができた。課題、予想、調べ、考察、まとめ、全て大切に、次につなげる学びを積み重ねていきたい。

ぼくは2023年、負けを学んだ。これからも努力し続けて、強くなろうと思う。また、勉強のことも忘れずに、文武両道を目指してがんばろうと思う。



校内書き初め大会～一文字一文字、一画一画に心を込めて丁寧に～

1月16日(火)の2校時、校内書き初め大会を行いました。この行事のねらいは、書き初めという日本の伝統行事を通して、書写学習のまとめをし、更に力を伸ばすことです。

1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆に取り組みました。毛筆の課題は、3年生「友だち」、4年生「明るい心」、5年生「新しい風」、6年生「将来の夢」です。

全校放送で「春の海(箏と尺八の曲)」を流し、厳かな雰囲気の中で取り組みました。どの学級の子どもたちも、一文字一文字、一画一画に心を込めて丁寧に書いていました。



【真剣に筆を走らせる6年生】

大谷翔平選手からグローブのプレゼントが届きました

アメリカのメジャーリーグで大活躍中の大谷翔平選手からグローブ3個(右利き用2個、左利き用1)が全国の小学校に贈られました。本校にも届き、1月15日(月)の冬休み明け集会で全校の子どもたちに紹介しました。グローブを見ると「おおー」と歓声が上がりました。

大谷選手からは次のような内容のメッセージも添えられていました。

- 子どもたちに野球に興味をもってもらいたいです。
- このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気付けるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。
- このグローブをみんなで共有し、野球を楽しんでください。「野球しようぜ。」このグローブをどのように使用するかは、児童会で考えることにしました。



【大谷選手のサインがプリントされたグローブ】

児童のがんばり～おめでとうございます～

○秋田県児童生徒美術展(入賞を紹介) 写真左から

- 1年 星川 * 「ふりむいたきょうりゅう」
- 2年 後藤 * 「まぼろしのちょう」
- 2年 梶原 * 「どうぶつかくれんぼ」
- 5年 齋藤 * 「海の月」

1月5日(金)～7日(日)に秋田県児童生徒美術展が開催されました。本校から23の作品を出品し、4作品が入賞し展示されました。19作品は佳作の賞状をいただきました。

